

よ読んでみよう 解いてみよう
さん太のワークシート

井原線を運行する井原鉄道は、駅員の制帽を井原市産のデニム製にリニューアルしました。記事を読んで質問に答えましょう。

Q1

この制帽は「デニムの聖地

・井原」をアピールしています。

デニムを広めるために、どんなものが作れるか考えてみよう。

てい がく ねん
低学年も
チャレンジ!

Q2

この制帽は何をイメージした形をしていますか。

井原鉄道が導入した井原市産デニムを使った制帽



井原線を運行する井原鉄道（井原市東江原町）は、駅員の制帽を同市産のデニム製にリ

井原鉄道3駅

地元産デニム 制帽に
おしゃれに「聖地」PR



井原市産デニムの制帽をかぶり接客する井原駅員ら＝5日

ニューアルした。井原、方）が製作した。清音、神辺の3駅で接客時などにかぶり「デニムの聖地・井原」をアピールする。SL機関士の帽子をイメージした形。厚手で耐久性に優れた高木織物（井原市高屋町）の生地を使い、襟立製帽所（浅口市鴨方町鴨

2011年春まで使用していた制服のワッペンを再利用している。内側に付けた生地端部分のほつれ止め加工「セルビッチ」（耳）をあしらったタグには「Ibara Railway」と入れ、見

えないところもおしゃれに仕上げた。5日から着用し、利用者への改札や切符販売などに対応していた。同鉄道は昨年10月、ラッピング列車「デニムトレイン」を導入し、デニムのPRに力を入れている。同鉄道営業企画課は「今後も沿線の魅力を伝えていきたい」と話し、「要望が多ければ商品化も検討する」としている。（川口剛）

2026年4月11日付、備中面
レイアウトを変更しました

Q3

帽子正面の社章には、何が再利用されていますか。

- ①2001年夏まで使用していた制帽のワッペン
- ②2011年春まで使用していた制服のワッペン
- ③2021年冬まで使用していた靴のワッペン

過去の問題は
こちらから▶▶



◇「さん太のワークシート」は自由
にダウンロードして、学校や家庭
での学習に活用してください。